

Kさん： 大豊町のKです。地域アクションプランの中にある「大型製材工場の誘致による地域材の利用の促進」についてお伺いしたいです。私の地元大豊町では大型製材工場導入の話が進んでいましたが、景気の関係でなかなか誘致が進んでいない状況です。そういう中で県として、今後の対応をどのように考えているかお聞きしたいと思います。

知事： 大型製材工場を誘致してくることは、本当に大切なことだと思います。来てくれると用材を引いてもらってそれが売れるだけではなく、そこから先に例えばバイオやチップの関係など採算の合う形で県内に流通させることができるなど、いろいろな形で夢が開けてくると思っています。ですから、誘致してくることは絶対的にやっていけないといけないことです。私自身も昨年会社にお伺いしてきました。いくつかのシンポジウムで社長さんにお会いしました。高知県には必ず行きたいと思っていますというお話はいただいています。しかし、今材価がかってないほど低迷している状況の中で、経営が苦しいという問題、また他県に進出した時のいろいろな状況に伴う問題もあり、今は行けないでいるというお話でした。今まで製材工場を誘致してくる時には、いわゆる企業誘致のいろいろな手法は必ずしも使っていなかったです。普通に企業を誘致してくる時でしたら、補助金がたくさん出る、さらに大型の減税措置を取ってきました。とにかく来ていただかないといけませんので、昨年の途中からになります、林業振興部と商工労働部が共同で通常の企業誘致と同じ様な補助金などをお渡しして誘致をする取り組みをしているところです。しかし、引き続き状況は厳しいと思いますが、向こうの気持ちがこっちに向いてくださっているわけですから、その気持ちを大切にしながら、相手の事情も考えながら粘り強く誘致活動を続けていくということかなと思っています。県の林業振興にとって極めて重要な会社ですから、それなりのことをする覚悟を固めているところです。林業振興・環境部長と一緒に、作戦をよく練っていきたいと思っています。決して諦めてはいません。私も政治家ですから、いつかやりますと言っていつまでもやらないということであっていいような話ではないと思っています。必ず実現しないといけない話だと思っていますから、一生懸命やりたと思っています。

Kさん： 知事の決意は大変よく分かりましたが、一つ私が危惧をしていますのは、ただ来ていただきたいというだけではないと思います。先だって会社に伺い、熊本では工場に2万坪を構え、木材も県森連などの組合で年間これだけはきちんと出しますという確約の上に誘致をした。ところが本県に至っては、前から呼ぶと言いながら、素材の確保すら目途が付いてないということです。その辺をきちんと整理をして、素材はいつ来ても年間5万なら5万、10万なら10万m<sup>3</sup>出せる態勢を作らないと、その辺が少しあやふやに思いますので、そこを強く要望しておきます。